

令和7年度第1回石巻市地域公共交通運賃協議会  
会議録

- ◆日時：令和8年1月20日（火） 午後3時30分から午後4時30分まで
- ◆場所：石巻市防災センター 2階 会議室1

1 開会

- ・委員数9名のうち9名出席のため会議成立
- ・運賃協議会条例により、岡浩委員が会長に就任

《委員移動》

<退出委員>

佐藤富士夫委員、三谷れい子委員、山田廣康委員、佐々木貴博委員、鈴木伸浩委員

<協議委員>

岡浩会長、佐々木祐助委員、岩倉準委員、関澤京子委員

2 議事内容

(1) 桃生地区住民バスの運賃改定について

(説明：桃生総合支所地域振興課)

(質疑応答)

委員	今回、桃生地区の住民バスにも定期券を導入されるということで、利用される見込みはいかがですか。往復で利用される人にはメリットがあるけれども、片道しか利用されない人だと、あまりメリットがない可能性もあるので、そうなると、定期券を利用されるのはどういう人を想定されているのかということと、定期券を導入することによって、一定の減収も見込まれるかなと思うのですが、そこに関して石巻市さんはどうお考えになっているのかということをお聞かせいただきたいと思います。
事務局	まず、利用される方の想定なのですが、この定期券導入におきましては、令和6年度、7年度におきまして、桃生イオンモール線の定期券を導入しないのですかという問合せがあったことをスタートとして検討してまいりました。令和6年度ですと1件、令和7年ですと現在までで4件問合せが来ております。その内容といたしましては、イオンモールのほうに通勤している方で、往復で定期券の設定はないのかということで、問合せがあったものと、詳しい施設名まではお聞きしなかったのですが、就労支援施設に通われている方がいらっしゃいまして、そちらに通うのに定期券があると便利なんだよねということで問合せがありました。それが3件程度ですかね、そういったところを、定期券の利用者として想定しております。また、定期券につきましては、お話しいただいたとおり、利用される方にとっては、運賃が下がりますが、事業者

	<p>としては、運賃収入が下がります。令和8年度の想定としましては、今、問合せがあった定期的に利用している方が、まずは使い始める想定で、バスの中で受け取る運賃収入と定期券収入を合わせたところで、令和7年度の運賃収入と比較すると、減収になるような見込みではあります。ただ、その施設利用者の中で、ロコミ等で話が広まっていて、乗客の方が増えていけば、その後におきましては運賃の収入が増加するという未来も見込めるのかなというところで、事務局としては考えております。</p>
会長	<p>定期の利用が周知されて、もともとバスを利用しない方がバスを利用するような形でプラスになればよいということですね。</p>

(協議結果)

	<p>異議なし 承諾</p>
--	----------------

(その他)

委員	<p>我々まだ年代的には、自分の車で、石巻あるいは日赤に行くわけですが、利用者がどういう利便性があるものかあるいは時間帯その他を体験するために行政委員の皆様に了解をいただきまして11月に17名で乗車体験させていただきました。</p> <p>ちょうど桃生交通さんが来ているからお話を聞きたいと思っていましたが、先ほども周知徹底という、定期券のことでもありましたが、私たちのときには2名の方が乗車されました。1月28日には、運行協議会関係のことで岩出山から、視察に来るわけなのですが、会長さんからお話があったとおり、桃生交通さんにお聞きしたいのは、やはり桃生総合支所でも、運行協議会でも周知徹底とか、利便性なども協議はしていましたが、実際体験しますと、これでいいものかそうではないかと。まだ1回しかしておりませんが、周知徹底の持っていき方、この定期券を出すことによって、どのような周知徹底であれば、ラインとかホームページで見てくださいという話が多いわけなのですが、利用する方が、高齢者、あるいは非常に若い方ですので、紙なりあるいは言葉での、周知徹底をどのようにしていくかなども、桃生交通さんなんかとも協議したいと思っております。それで岩出山さんが来る前に、桃生交通さんに、市のほうには去年の乗車人数とかは全て、毎年、我々も会合の中では、資料は出されますが、やっぱり自分たちが体験したことによって、もっと利用する回数、あるいは利用する方が増えることを願っておりますので、そういう協議も今後ぜひ、していかなければいけないと思っておりますので、桃生交通さんの専務さんが来ておりますので、お話があればお聞きしたいし、あるいは委員の皆さん、会長さんからも御指導いただきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>運行協議会の事務局としましては、3月の市報の配布時に、桃生総</p>

	<p>合支所のほうでも、市報とは別に桃生地区だけにお知らせ版ということでA4のチラシを毎月配布しておりますので、そちらのほうに定期券を導入しましたよというところは、織り込んでですね、皆様に周知を図るとともに、あとは、各停留所に設置されてあります住民バスの時刻表、大きいものを停留所に貼っているのですが、そういったところにも貼りだしてですね、定期券もありますよということで周知を図っていきたいと考えております。</p>
会長	<p>市報に、いわゆる定期券を発行しますよという折り込みのチラシを別で作って、桃生地区内の全戸に配布する予定であるってことでよろしいですね。それで周知を図ると。</p> <p>何か、運行事業者の目線で、今のお話で何か。</p>
委員	<p>市報とかでも資料は入れているとは思いますが、まだ周知されていない部分も、多少はあるとは思いますが、バスの車内に貼り出すとか外に見えるように、定期券を導入しましたよと外に見えるようにするという案もあるのかなど。</p>
会長	<p>例えば、マグネットシールなどですか。</p>
委員	<p>そうですね、外に見えるように、ガラスのところに貼って、バスなので結構見られることが多いので目にはつくのかなど。</p>
会長	<p>それも、周知の一つとして、運行協議会のほうでも検討してもらってもよろしいでしょうか。やっぱり、私自身も、担当部長をして、今までバスは、あんまり正直使っていませんでした。ただ、市の職員も公共交通をできるだけ利用しようということで、月に4～5回バスに乗るようにしています。乗ってみて初めて分かることもあるのですよね。車で通勤、買物することがもう当たり前のように生活してきましたので。ただ、ちょっとその時間に合わせるとか、運行ダイヤに合わせることで不便さを感じる場所があるのですが、やはり常時そういうバスが運行しているということで何かあったときに、それを利用できると。何か飲み会があるときもそうなのですが、そういう公共交通があるということ、そして乗ってみて、できるだけ感じたことを周りに伝えるということが大事だと思います。今は車を運転できるからいいという話でも、いずれやっぱり、年齢とともに車を運転するのを控えるような事態になった場合、やっぱり公共交通の大事さ必要さというのを十分感じると思いますので、地域の皆さんにも、1回は、乗ったことがない人は乗ってみて、何か自分で感じたことがあれば伝えてもらえば、改善できることは改善しますし、地域の方にとって利用しやすい、望まれるような公共交通の形というものも検討していきたいなと思います。市のほうでも、限られた予算の中で、運行を維持する関係上、御不便をかけることも正直ありますが、それは、地域の方のお話と、あと市でできることの共通点を見いだしながら、何とかその地域の交通の足を維持していきたいなと強く思っております。</p>

委員	一言だけ。今、私の質問したことによって、会長さん初め、桃生交通さん、うちのほうの担当からお話ありましたけども、やはり今、会長さんが言ったとおり、今はいいけれどもという形ですけれども、我々行政委員で、また明日、市報の配布がありますが、そのときに、多くの委員の方に、行政委員の方にも、どうぞ、自宅を訪問するとき、黄色でよく目立つ会報でございますが、なかなか見ない人が多いもので、ぜひ見ていただきたいと。あるいは私たちも声がけで、体験してみてください、あと私も地区の役員をやっているもので、また2月に総会ありますが、地域で、自分たちの地区の5人とか10人で、どうぞ、予算はありますので、私たちの会のほうで出しますから、イオンモールまで乗ってみてくださいというような働きかけも必要なことかと今感じましたので、その辺も我々も努力していきたいと思っています。
会長	ぜひ地域としての声がけ働きかけよろしくどうぞお願いします。

《委員入替》

<退出委員>

佐々木祐助委員、岩倉準委員

<入出委員>

佐藤富士夫委員、山田廣康委員

<協議委員>

岡浩会長、佐藤富士夫委員、山田廣康委員、関澤京子委員

(2) 北上地区住民バスの運賃改定について

(説明：北上総合支所地域振興課)

(質疑応答)

委員	区長会議の中で協議した結果、こちらに来ているものですからね、私からしてみれば、皆さんの賛同をいただければと思います。
会長	地域の声を十分反映している内容だということですね。
委員	運賃については、特にございませぬ。ただ、今回新しくできるバス停がありますので、その部分はちょっと十分に協議をしながら、慎重に進めたいなと思っています。

(協議結果)

	異議なし 承諾
--	---------

(その他)

委員	地域の足としては1番関心を持つべきところなのですが、便数を増やしても、利用者の方が増えるわけでもないようなので。ただ、新聞等で見ますと、一部何かタクシー券の発行みたいところもあるようですが、ただそれもいかなものかなと思うのです。私は半島沿岸部な
----	--

	<p>ので、やっぱり半島部沿岸部ですと、私はたまたま息子が隣にいますからいいのですが、やっぱりいない方はなかなか、ただタクシー券といっても、これは一律いくりにするか、例えばそれを認めれば、タクシー券が出るのなら親父も申請しろと、例えばですよ。そうなった場合に大変な額になってしまうのでいかがなものかなと。ただ1回地元で新聞の方が来たときに、今はちょっと施設に入ってしまったのですが、シルバーカーっていうのですか、積んでもらえるならわたしももう少しまちに行きたいという意見はありました。新聞の取材がありましたが、記事にはならなかったのです。ただ、だから、今1番、難しい部分は住民バスなのかなと思ってございます。</p> <p>また、私たち北上地区なんかはたまたま診療所がありますけれども、ほかの部分ではかなり病院までキロ数がありますから、だからといって、これ以上の望みはちょっと無理なのかなと思います。ただ私たちの現状を知っていただければそれでいいのかなと思ってございます。</p>
<p>会長</p>	<p>やっぱり住民バスについては、利用者の方の負担もございしますが、地域の協力金もあります。地域でも支えていただいていますので、それでも足りない分については、市が負担しているというしくみでございませう。やっぱり今、車社会で車がなければ生活できないような状況で、委員さんのほうでは、息子さんが近くにいる、送っていただけると。昔は共助の形で、隣近所の方が、買い物とか病院についでに載せてもらうというのが当たり前にあったのですが、今はそういう時代ではなくて、何か事故があったら大変だということで、そういうのもなくなったので、行政に対する、何とかしてくださいという声が非常に大きくなっています。住民バスを走らせても、なかなか利用される方、多くないですよ。やっぱり車で移動できる方は、できるだけ車で移動するという方も多いでしょうし、いずれ、車を運転するのが難しくなってきた、家族でも、誰も送ってくれる人がいなければ、公共交通に頼らざるをえない時が来ますので、公共交通を維持するということは非常に大事だと思っています。先ほど桃生地区の話でもあったのですが、できるだけ、地域の方に1回はまずバスを利用してもらおうような声がけだったり、そういうのも大事ではないかという話もありました。乗ったこともないのに、そんなもの乗ってられないと、そういうふうにする人もかなりいますので、そういう地域を支える足を、地域で維持していくためには、1回は利用してみて、それで何か感じるものがあれば御意見いただければ、今後に活かしていきたいと思っています。</p> <p>移動時間、車なら、例えば40分で行くところが、バスで行くと1時間半かかることが実際あると思います。やっぱり公共交通は不便です。その不便さもわかった上で利用していただくというのも、大事なかなと思っていますので、その辺、市民の皆様にとりだれだけ理解していただけるかというのは非常に難しい話なのですが、やっぱり、自分でできる</p>

	<p>ことは自分で、自助・共助・公助という順番で、共助で、地域で支え合うことも、今後重要なのかな、それがないと、全部役所で、公助の話になってしまうと。財政的にもかなり負担が増えてきますので、自分でできることなら自助、あとは地域で何とか助け合ってできることは共助という部分を、今後、公共交通の維持も含めて考えていかなければならないかと思います。地域の声を、いろいろお聞かせいただく中で、どういう形で、住民バスを維持したほうがいいのかということは、しっかり、総合支所とも話をしながら考えていきたいと思っています。難しい課題です、人口減ってきますよね。高齢化もしていきます。そうすると、その地域に住む方が確実に減っていくので、それを、不便さは感じるかと思いますが、なくなってしまったら大変なことなので、なくなるないように、どうすればいいかということをしっかり考えていきたいと思っています。</p>
--	---

《委員入替》

<退出委員>

山田廣康委員

<入出委員>

佐々木貴博委員

<協議委員>

岡浩会長、佐藤富士夫委員、佐々木貴博委員、関澤京子委員

(説明：北上総合支所地域振興課)

(質疑応答)

	なし
--	----

(協議結果)

	異議なし 承諾
--	---------

(その他)

佐々木貴博委員	3ページのほうで、新設というところでこれ、バスをUターンする場所なのですが、どちらでUターンすればよろしいですかね。
事務局	23から、女川電子さんのほうに行ったところに以前バスを転回できる場所を設置してあるわけなのですが、そちらで転回していただければと思います。バスの大きさによってちょっと大上のほうの道路幅が狭かったり、ちょっと見通しが悪かったりして、なかなかバスを回せる場所がないのかなと感じておりましたので、女川電子さんの手前のところで、転回していただく形をと思っております。
委員	許可をとっていただいているような形で考えてよろしいですか。
事務局	その場所が、私の土地になっています。

《委員入替》

＜退出委員＞

佐藤富士夫委員、佐々木貴博委員

＜入出委員＞

三谷れい子委員、鈴木伸浩委員

＜協議委員＞

岡浩会長、三谷れい子委員、鈴木伸浩委員、関澤京子委員

(3) 山の手地区乗合タクシーの事業者変更に係る運賃設定について

(説明：復興企画部地域振興課)

(質疑応答)

	特になし
--	------

(協議結果)

	異議なし 承諾
--	---------

(その他)

委員	本当は範囲をもうちょっと広くしてもらえばありがたいという意見もたまにありました。ただ、今現在の運行の範囲でないと、ちょっとだめですということ言われたのでそれは仕方がないのかと。
会長	運行の範囲を拡大ということですか。
委員	この範囲は、やっぱり中里のほうとか岸内科とかちょっと線路を超えますけれど、あのあたりまで入れてもらえると本当はありがたいけれども、だめなのですよという話です
事務局	他の地区をまたいでしまうと、運行事業者いろいろありますが競合してしまうというところで、なかなか承諾を得るといえるか、運行の形態を変えるというのは非常に難しい状況にあるものですから、御理解いただきたいと思います。
会長	要望する方からすれば違いというのは、なかなか見えない部分がありますが、住み分けしているという。それで、今後、いろいろ状況の変化によって、声は声としてお伺いした上で、対応できるものがあれば、地域の声を聞いた中で進めてまいりたいと思います。
事務局	今回予約の時間帯変更になるのですが、大丈夫だというお話は聞いておりましたが、改めて大丈夫かというのを。
委員	大丈夫です。
会長	すぐに利用したいという方については今までとちょっと違う形で、前もってという形になりますので、そこは御理解頂ければと思いますので。
委員	急にタクシーを利用しないといけないというそういう用事ができた

ときは、山の手地区乗合タクシーではなくて、普通のタクシーで御利用くださいってということで申し上げればよろしいかと思えます。

### 3 閉会

以上

令和7年度第1回石巻市地域公共交通運賃協議会 委員名簿 (敬称略)

番号	委員区分	氏名	役職名	備考
1	(4)	佐々木 祐助	桃生地区行政委員会 会長	協議事項(1)
2	(4)	佐藤 富士夫	北上地区行政委員会 会長	協議事項(2)
3	(4)	三谷 れい子	山の手地区乗合タクシー運行協議会 委員	協議事項(3)
4	(2)	岩倉 準	株式会社桃生交通 専務取締役	協議事項(1)
5	(2)	山田 廣康	南三陸観光バス株式会社 取締役社長	協議事項(2)前半
6	(2)	佐々木 貴博	有限会社松山観光バス 代表取締役	協議事項(2)後半
7	(2)	鈴木 伸浩	北上タクシー株式会社	協議事項(3)
8	(3)	関澤 京子	国土交通省東北運輸局宮城運輸支局 輸送・監査部門 首席運輸企画専門官	
9	(1)	岡 浩	石巻市復興企画部長	

委員区分

- (1) 市職員
- (2) 運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者又はその指名する者
- (3) 東北運輸局長又はその指名する職員
- (4) 関係住民の意見を代表する者